禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B2

「中央職業能力開発協会編」

令和６年度 技能検定
２級 造園 学科試験問題
（造園工事作業）

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　ロックガーデンは、岩を石垣状に組んだ庭園である。

2　水琴窟(洞水門)は、水音を楽しむために工夫した地下装置である。

3　カスケードとは、階段状の人工滝のことをいう。

4　こやすけは、石工事のときの石割りに使用する工具である。

5　細竹に穴をあける場合は、四つ目ギリよりも三つ目ギリを使用する方がよい。

6　ネットワーク工程表は、バーチャート(横線式)工程表よりも関連工種間の相互関係を把握しやすい。

7　造園工事において、降雨は、作業効率を低下させる要因の一つである。

8　延段の目地は、四つ目地、通し目地又は八つ巻きにするのがよい。

9　千鳥打ちは、飛石を一石ずつ大小交互に大きさを変えて配石する打ち方である。

10　てんぐす病は、サクラ等に発生する病気で、枝の一部が著しく変形し、密生する。

11　砂質土壌は、肥料分の保持が困難なので、有機質の土壌改良材を施すとよい。

12　クロマツのみどり摘み(新芽摘み)は、秋に行う。

13　キンクしたワイヤロープは、キンクの部分を直せば、再度使用してもよい。

14　コンクリートの打設には、季節にかかわらず養生を必要としない。

15　れんがの積み方には、長手積み、小口積み、フランス積み等がある。

16　石灰質の土壌改良材は、酸性土壌の改良に適さない。

17　正真木には、低木の落葉樹を使用するとよい。

18　生垣用樹として使用される樹木には、ベニカナメモチ、トキワマンサク、マサキなどがある。

19　竹材は、一般に、春から夏にかけて切り出したものがよい。

［A群（真偽法)］

20　鉄平石及び根府川石は、いずれも安山岩である。

21　図面において、寸法補助記号Rは、直径を表す。

22　クリノメータは、高さを測定する機器である。

23　都市公園法関係法令によれば、都市公園において、砂場は、修景施設に含まれる。

24　労働安全衛生法関係法令によれば、脚立は、脚と水平面との角度を80°以下として使用しなければならないと規定されている。

25　労働安全衛生法関係法令によれば、つり上げ荷重が1トン以上の移動式クレーンの玉掛けの業務については、玉掛け技能講習の修了等の有資格者でなければ行ってはならない。

［B群（多肢択一法）］

1　フランス式庭園の説明として、適切でないものはどれか。
　イ　イタリア式の立体式に対して平面的である。
　ロ　園路が集まる場所には、噴水や彫刻などが置かれる。
　ハ　曲線園路が多く用いられている。
　ニ　主要建築物の周辺に花壇を作ることが多い。

2　次のうち、池泉回遊式庭園でないものはどれか。
　イ　桂離宮庭園
　ロ　六義園
　ハ　岡山後楽園
　ニ　大仙院方丈庭園

3　平面花壇の組合せとして、適切なものはどれか。
　イ　境栽(ボーダー)花壇、毛氈(もうせん)花壇
　ロ　境栽(ボーダー)花壇、寄植え花壇
　ハ　リボン花壇、毛氈花壇
　ニ　リボン花壇、寄植え花壇

4　金閣寺垣の製作に使用しない工具はどれか。
　イ　水糸
　ロ　突き棒
　ハ　かなづち
　ニ　くり針

5　整地や地ならしに使用しない工具はどれか。
　イ　スコップ
　ロ　こうがい板(かき板)
　ハ　掛矢(かけや)
　ニ　ジョレン

6　キンモクセイの掘り取り法として、適切なものはどれか。
　イ　凍土法
　ロ　根巻き
　ハ　振るい掘り
　ニ　追い掘り

［B群（多肢択一法）］

7　高さ4mのハナミズキを街路樹として狭い植樹帯に植栽する場合の支柱として、適切なものはどれか。

イ　竹を使用した八つ掛け支柱
ロ　丸太を使用した方杖支柱
ハ　丸太を使用した鳥居支柱
ニ　丸太を使用した布掛け支柱

8　竹垣の胴縁の施工方法に関する記述として、適切なものはどれか。

イ　先に下段を取り付けると、正確に取り付けられる。
ロ　先に上段を取り付けると、柱間が開かない。
ハ　先に中段を取り付けると、最も安定する。
ニ　各段の元口と末口を、それぞれ同じ方向に揃えて取り付ける。

9　敷石施工に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　床掘りし、砂利等を入れてよく突き固め、その上に砂を敷いて行う。
ロ　水糸を使用して敷石の外線や高さの基準を出す。
ハ　水平の確認には、水平器を使用するとよい。
ニ　厚さ12cmの敷石を使用する場合、見栄えをよくするために、ちりを10cmにするとよい。

10　揚げ巻きに関する記述として、適切なものはどれか。

イ　掘穴の中で根巻きする。
ロ　根についている土を全て振るい落とす。
ハ　掘穴から出して、根巻きする。
ニ　長い根を掘り取り、根全体を束ねる。

11　樹木の葉を食害する害虫はどれか。

イ　ハマキムシ
ロ　カイガラムシ
ハ　アブラムシ
ニ　グンバイムシ

12　樹木の剪定にかかわる枝の呼び方とその意味の組合せとして、適切でないものはどれか。

	(枝の呼び方)		(意味)
イ	からみ枝	・・・	他の枝に絡みついた枝
ロ	ふところ枝	・・・	樹木の根元から発生する枝
ハ	逆さ枝	・・・	外側に伸びる性質に逆らい、幹に向かって伸びる枝
ニ	平行枝	・・・	同じ方向に接近して平行に伸びる枝

［B群（多肢択一法）］

13　テニスコートの舗装として使用するものはどれか。
　イ　クレイ舗装
　ロ　アスファルト舗装
　ハ　れんが舗装
　ニ　コンクリート舗装

14　次のうち、盛土用の土として、最も適切なものはどれか。
　イ　大量の水分を含んだ土
　ロ　木の根が混じった土
　ハ　凍った土
　ニ　砂礫（れき）質の土

15　造園作業における**れん**が積み工事の1日の積み高さとして、一般に、適切なものはどれか。
　イ　1.2m
　ロ　2.2m
　ハ　3.2m
　ニ　4.2m

16　壁面緑化に使用するツル性植物でないものはどれか。
　イ　ナツヅタ
　ロ　フッキソウ
　ハ　ムベ
　ニ　テイカカズラ

17　次のうち、すす病の被害を最も受けやすい樹種はどれか。
　イ　ヤマモモ
　ロ　モチノキ
　ハ　ソメイヨシノ
　ニ　エンジュ

18　球根類でないものはどれか。
　イ　チューリップ
　ロ　スイセン
　ハ　インパチェンス
　ニ　グラジオラス

［B群（多肢択一法）］

19　潮風に弱い樹種はどれか。
　イ　ウバメガシ
　ロ　ソメイヨシノ
　ハ　マテバシイ
　ニ　ヤマモモ

20　春花壇に適しているものはどれか。
　イ　デージー
　ロ　ホウセンカ
　ハ　コスモス
　ニ　ハボタン

21　植栽樹木の位置を表示する図面はどれか。
　イ　断面図
　ロ　正面図
　ハ　平面図
　ニ　立面図

22　角度を測る機器はどれか。
　イ　巻尺
　ロ　セオドライト(トランシット)
　ハ　レベル
　ニ　スタッフ

23　次の都市公園施設のうち、教養施設はどれか。
　イ　図書館
　ロ　噴水
　ハ　休憩所
　ニ　駐車場

24　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。
　都市公園法関係法令によれば、国の設置に係る一の都市公園に設ける運動施設の敷地面積(総計)の当該都市公園の敷地面積に対する割合は、(　　)を超えてはならないと規定されている。
　イ　20／100
　ロ　30／100
　ハ　40／100
　ニ　50／100

［B群（多肢択一法）］

25　作業現場における事故に対する備えや措置として、適切でないものはどれか。

イ　重大事故が発生した場合、関係者に速やかに連絡できるよう緊急連絡網を常備する。

ロ　付近の医療機関を確認しておき、事故時には速やかに手配できるようにする。

ハ　救急箱などを用意しておき、応急処置をすぐにとれるようにしておく。

ニ　重大事故が発生した場合、対策が考えられるまで作業を継続してよい。